

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 国際計測器株式会社
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本 繁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松本 博司

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 042-371-4211

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 3,978 | 48.0 | 508 | — | 338 | — | 239 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 2,687 | △39.8 | △14 | — | △138 | — | △96 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 17.11 | — |
| 22年3月期第2四半期 | △6.88 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 11,867 | 5,686 | 47.7 | 403.85 |
| 22年3月期 | 10,937 | 5,772 | 52.6 | 410.30 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,660百万円 22年3月期 5,750百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 23年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 23年3月期 (予想) | — | — | — | 20.00 | 30.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,000 | 81.7 | 1,700 | 912.3 | 1,460 | — | 870 | — | 62.07 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 14,200,000株 22年3月期 14,200,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 184,500株 22年3月期 184,500株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 14,015,500株 22年3月期2Q 14,090,681株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 5 |
| 2. その他の情報..... | 6 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要..... | 6 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要..... | 6 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要..... | 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表..... | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書..... | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 11 |
| (5) セグメント情報..... | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 12 |
| 4. 補足情報..... | 13 |
| 生産、受注及び販売の状況..... | 13 |

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成22年12月1日（水）・・・・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州諸国の財政危機に端を発する混乱が不安視されたことによる株安や円高の傾向が強まり、依然として厳しい状態が続いておりますが、中国やインドをはじめとする新興国の継続的な成長や、各国政府の様々な経済対策により景気は回復基調を維持しました。

当社グループの主力取引先である中国・東南アジアの自動車・タイヤメーカーの設備投資は前期に引き続き改善しつつあるものの、国内自動車関連メーカーの設備投資予算については、燃料電池等環境に配慮した研究開発等の分野に集中している状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、従来のバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機だけでなく、各種電気サーボモータ式振動試験機や昨年度予算化された全国自治体関連の初期防災システムである地震震度情報ネットワークシステムの営業活動を積極的に展開し、中国・インドをはじめとするアジアのタイヤメーカーから、製造ライン向けタイヤ関連試験機の受注を中心に70億6千7百万円獲得いたしました。

以上の結果、売上高につきましては、アジアの好調な設備投資による受注の増加に伴いタイヤ関連試験機の輸出が増加したことにより、39億7千8百万円（前年同四半期比48.0%増）となりました。

営業利益につきましては、売上が大幅に増加したこと、前連結会計年度から引き続き販売費及び一般管理費の削減を行ったことにより、5億8百万円（前年同四半期は1千4百万円の損失）となりました。

経常利益につきましては、急激な円高ドル安の進行により為替差損が発生したものの、営業損益の改善により、3億3千8百万円（前年同四半期は1億3千8百万円の損失）となりました。

四半期純利益につきましては、上記の理由により、2億3千9百万円（前年同四半期は9千6百万円の損失）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔国際計測器株式会社〕

中国の中堅タイヤメーカー向け試験設備を中心として、各自治体の地震震度情報ネットワークシステムや電気サーボモータ式振動試験機の事業展開を推進しており、客先への納品はほぼ予定通りに推移しております。その結果、売上高は33億8千5百万円（前年同四半期比70.2%増）、経常利益は4億1千2百万円となりました。

〔東伸工業株式会社〕

前連結会計年度の政権交代により、政府予算が縮小された影響を受け客先の予算凍結などが行われた結果、一時的に受注が減少しておりましたが、当第2四半期連結会計期間には受注は回復傾向にあるものの、客先への納品は第4四半期連結会計期間に集中しております。その結果、売上高は2億7千2百万円（前年同四半期比21.6%減）、経常損失は7百万円となりました。

〔米国〕

当第2四半期連結累計期間に大手タイヤメーカーからの受注を獲得しており回復傾向にありますが、大型案件は第3四半期以降の納品となります。その結果、売上高は1億1千1百万円（前年同四半期比55.8%減）、経常損失は2千7百万円となりました。

〔韓国〕

前連結会計年度に引き続き自動車・タイヤ関連メーカーからの受注が回復傾向にあり、客先への納品はほぼ予定通りに推移しております。その結果、売上高は6億7千0百万円（前年同四半期比196.0%増）、経常利益は1億8千6百万円となりました。

〔中国〕

バイク用タイヤ試験機をはじめ、自動車部品用バランスーの納品が進んでおります。その結果、売上高は3億3百万円（前年同四半期比172.9%増）、経常利益は6千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、75億9千1百万円（前連結会計年度末比10億5千1百万円増）となりました。これは、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比3億1千6百万円減）したものの、受注の増加に伴い仕掛品（前連結会計年度末比9億1千4百万円増）、原材料及び貯蔵品（前連結会計年度末比1億3千9百万円増）が増加したことや受取手形及び売掛金が回収されたことにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比1億4千3百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、42億7千6百万円（前連結会計年度末比1億2千1百万円減）となりました。これは、役員及び従業員を対象とした保険積立金が増加（前連結会計年度末比9千4百万円増）したものの、長期の定期預金を短期に振替えたことにより投資その他の資産のその他が減少（前連結会計年度末比1億1千7百万円減）したこと及びのれんの償却によりのれんが減少（前連結会計年度末比3千5百万円減）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、47億1千7百万円（前連結会計年度末比11億4千3百万円増）となりました。これは、受注の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比6億2千6百万円増）したこと及び前受金が増加（前連結会計年度末比2億7千3百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、14億6千3百万円（前連結会計年度末比1億2千7百万円減）となりました。これは、1年内償還予定の社債へ振替えたことにより社債が減少（前連結会計年度末比1億円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、56億8千6百万円（前連結会計年度末比8千6百万円減）となりました。これは、四半期純利益を計上したこと等により利益剰余金が増加（前連結会計年度末比9千9百万円増）したものの、円高ウォン安等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比1億8千4百万円減）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により7億1千9百万円の収入となり、投資活動により1億8千6百万円の収入となり、財務活動により3億1千8百万円の支出超過となった結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ4億7千6百万円増加し、19億9千3百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、7億1千9百万円の収入（前年同四半期比4億7千0百万円の収入減少）となりました。これは、受注の増加によりたな卸資産が11億4千2百万円増加したものの、生産量が増加したため仕入債務が6億3千6百万円増加したこと、税金等調整前四半期純利益を3億3千7百万円計上したこと及び前受金が3億6百万円増加したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1億8千6百万円の収入（前年同四半期比3億7千0百万円の増加）となりました。これは、資金運用のために定期預金の預入による支出が2億5千6百万円あったこと、役員及び従業員を対象とした保険積立金の積立による支出が9千9百万円あったものの、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が5億4千6百万円あったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、3億1千8百万円の支出超過（前年同四半期比2億7千9百万円の支出減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が2億7千4百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,930,329 | 2,786,749 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,688,708 | 2,005,275 |
| 商品及び製品 | 274,523 | 229,393 |
| 仕掛品 | 1,745,628 | 830,948 |
| 原材料及び貯蔵品 | 554,553 | 414,784 |
| 繰延税金資産 | 184,127 | 102,146 |
| その他 | 220,209 | 177,491 |
| 貸倒引当金 | △6,932 | △6,826 |
| 流動資産合計 | 7,591,147 | 6,539,962 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,575,194 | 1,593,946 |
| 機械装置及び運搬具 | 173,420 | 174,567 |
| 土地 | 1,670,476 | 1,674,196 |
| その他 | 175,736 | 180,609 |
| 減価償却累計額 | △1,046,045 | △1,028,337 |
| 有形固定資産合計 | 2,548,783 | 2,594,981 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 141,125 | 176,406 |
| その他 | 59,969 | 64,596 |
| 無形固定資産合計 | 201,094 | 241,003 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 126,067 | 137,727 |
| 長期貸付金 | 38,310 | 40,430 |
| 繰延税金資産 | 130 | 358 |
| 保険積立金 | 1,313,961 | 1,219,029 |
| その他 | 70,160 | 187,692 |
| 貸倒引当金 | △21,754 | △23,202 |
| 投資その他の資産合計 | 1,526,875 | 1,562,035 |
| 固定資産合計 | 4,276,753 | 4,398,019 |
| 資産合計 | 11,867,901 | 10,937,982 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,914,480 | 1,287,701 |
| 短期借入金 | 950,000 | 1,083,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 450,406 | 465,055 |
| 未払法人税等 | 183,119 | 37,183 |
| 賞与引当金 | 151,427 | 56,380 |
| 製品保証引当金 | 116,476 | 93,378 |
| 前受金 | 688,049 | 414,438 |
| その他 | 163,909 | 136,930 |
| 流動負債合計 | 4,717,868 | 3,574,068 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 100,000 |
| 長期借入金 | 1,030,592 | 1,061,290 |
| 繰延税金負債 | 138,179 | 158,765 |
| 退職給付引当金 | 171,341 | 155,712 |
| 役員退職慰労引当金 | 119,556 | 115,156 |
| 資産除去債務 | 4,106 | — |
| 固定負債合計 | 1,463,775 | 1,590,924 |
| 負債合計 | 6,181,644 | 5,164,992 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,023,100 | 1,023,100 |
| 資本剰余金 | 936,400 | 936,400 |
| 利益剰余金 | 4,514,268 | 4,414,582 |
| 自己株式 | △150,917 | △150,917 |
| 株主資本合計 | 6,322,850 | 6,223,164 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 30,264 | 35,840 |
| 為替換算調整勘定 | △692,974 | △508,410 |
| 評価・換算差額等合計 | △662,709 | △472,570 |
| 少数株主持分 | 26,116 | 22,395 |
| 純資産合計 | 5,686,256 | 5,772,989 |
| 負債純資産合計 | 11,867,901 | 10,937,982 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,687,763 | 3,978,905 |
| 売上原価 | 1,713,126 | 2,343,953 |
| 売上総利益 | 974,637 | 1,634,952 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 製品保証引当金繰入額 | 110,958 | 106,905 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 735 |
| 役員報酬 | 66,740 | 42,580 |
| 給料手当及び賞与 | 227,282 | 233,793 |
| 賞与引当金繰入額 | 23,585 | 53,268 |
| 退職給付費用 | 7,329 | 17,118 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 4,267 | 4,400 |
| 運賃 | 66,213 | 122,542 |
| 減価償却費 | 17,737 | 12,485 |
| 研究開発費 | 60,409 | 19,907 |
| その他 | 404,644 | 512,231 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 989,168 | 1,125,966 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △14,531 | 508,986 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 22,155 | 19,171 |
| 持分法による投資利益 | 21 | — |
| その他 | 12,288 | 8,638 |
| 営業外収益合計 | 34,465 | 27,810 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,864 | 15,995 |
| 持分法による投資損失 | — | 1,869 |
| 売上債権売却損 | 10,481 | 3,664 |
| 支払手数料 | 13,117 | 2,625 |
| 為替差損 | 94,998 | 170,934 |
| 保険解約損 | 18,231 | 1,016 |
| その他 | 2,086 | 1,704 |
| 営業外費用合計 | 158,781 | 197,809 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △138,847 | 338,986 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 40,757 | — |
| 賞与引当金戻入額 | 17,001 | — |
| 特別利益合計 | 57,759 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 441 | 42 |
| 固定資産売却損 | 261 | 14 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 1,848 |
| 特別損失合計 | 703 | 1,905 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △81,792 | 337,080 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,089 | 193,150 |
| 過年度法人税等 | 14,564 | — |
| 法人税等調整額 | △15,602 | △100,021 |
| 法人税等合計 | 7,050 | 93,128 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 243,951 |
| 少数株主利益 | 8,138 | 4,111 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △96,981 | 239,840 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △81,792 | 337,080 |
| 減価償却費 | 45,326 | 37,194 |
| のれん償却額 | 35,281 | 35,281 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △21 | 1,869 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △38,127 | 622 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △20,408 | 95,520 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | 2,943 | 23,167 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △7,944 | 16,374 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △17,046 | 4,400 |
| 受取利息及び受取配当金 | △22,155 | △19,171 |
| 支払利息 | 19,864 | 15,995 |
| 為替差損益(△は益) | 40,296 | 106,144 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,626,346 | 286,107 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 308,916 | △1,142,405 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △520,853 | 636,587 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △10,627 | 306,325 |
| その他 | △14,280 | 24,118 |
| 小計 | 1,345,719 | 765,213 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,344 | 16,396 |
| 利息の支払額 | △21,362 | △16,276 |
| 法人税等の支払額 | △150,486 | △45,716 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,190,213 | 719,616 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △362,712 | △256,013 |
| 定期預金の払戻による収入 | 198,100 | 546,300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,578 | △7,819 |
| 保険積立金の積立による支出 | △99,303 | △99,858 |
| 保険積立金の解約による収入 | 84,385 | 3,910 |
| その他 | △1,629 | △276 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △184,737 | 186,242 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △88,000 | △133,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 229,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △179,715 | △274,347 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △148,873 | — |
| 配当金の支払額 | △170,783 | △139,999 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △597,372 | △318,346 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △23,881 | △131,260 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 384,222 | 456,252 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,133,177 | 1,537,374 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,517,400 | 1,993,626 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、計測器を生産・販売しており、国内においては当社及び東伸工業株式会社が、海外においては米国、韓国、中国等の各地域をKOKUSAI INC.（米国）、KOREA KOKUSAI CO.,LTD.（韓国）、高技国際計測器(上海)有限公司（中国）及びその他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品全般について各地域の顧客に対しての販売活動を中心に事業を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」を「国際計測器株式会社」及び「東伸工業株式会社」に分けた上で、「米国」、「韓国」及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、バランスングマシン、シャフト歪自動矯正機のほか、電気サーボモータ式振動試験機、材料試験機及びその他の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|---------------------------|---------------|--------------|---------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 日本 | | 米国 | 韓国 | 中国 | 計 | | |
| | 国際計測器 株式会社 | 東伸工業 株式会社 | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 3,110,053 | 272,467 | 76,241 | 365,492 | 152,024 | 3,976,280 | 2,625 | 3,978,905 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 275,926 | — | 35,277 | 305,086 | 151,466 | 767,757 | 36,858 | 804,616 |
| 計 | 3,385,980 | 272,467 | 111,519 | 670,579 | 303,491 | 4,744,038 | 39,483 | 4,783,522 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 412,023 | △7,891 | △27,068 | 186,743 | 65,246 | 629,053 | 16,380 | 645,434 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 629,053 |
| 「その他」の区分の利益 | 16,380 |
| セグメント間取引消去等 | △306,447 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 338,986 |

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

| 区分 | 生産高(千円) | 前年同四半期比(%) | 各区分に関連する 主な報告セグメント |
|----------------|-----------|------------|-----------------------|
| バランスンマシン | 3,169,008 | +71.3 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 電気サーボモータ式振動試験機 | 276,604 | +53.2 | 日本(国際) |
| 材料試験機 | 272,467 | △21.6 | 日本(東伸) |
| シャフト歪自動矯正機 | 179,499 | +47.5 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| その他 | 217,657 | +15.1 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 合計 | 4,115,235 | +53.1 | — |

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「電気サーボモータ式振動試験機」及び「材料試験機」は、当第2四半期連結累計期間については区分表示しております。なお、前年同四半期比については、前第2四半期連結累計期間分を遡及修正した金額に基づき算出しております。

(注4) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの国際計測器株式会社、東伸工業株式会社であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

| 区分 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 各区分に関連する 主な報告セグメント |
|----------------|-----------|------------|-----------------------|
| バランスンマシン | 4,464,947 | +106.7 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 電気サーボモータ式振動試験機 | 522,743 | +173.0 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 材料試験機 | 518,231 | +10.3 | 日本(東伸) |
| シャフト歪自動矯正機 | 302,466 | +36.6 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| その他 | 1,259,040 | +276.5 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 合計 | 7,067,429 | +109.2 | — |

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「電気サーボモータ式振動試験機」及び「材料試験機」は、当第2四半期連結累計期間については区分表示しております。なお、前年同四半期比については、前第2四半期連結累計期間分を遡及修正した金額に基づき算出しております。

(注4) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの国際計測器株式会社、東伸工業株式会社であります。

②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(平成22年9月30日)

| 区 分 | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) | 各区分に関連する 主な報告セグメント |
|----------------|-----------|------------|-----------------------|
| バランスングマシン | 5,003,780 | +107.4 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 電気サーボモータ式振動試験機 | 1,159,340 | +252.9 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 材料試験機 | 315,025 | △3.3 | 日本(東伸) |
| シャフト歪自動矯正機 | 491,165 | +112.3 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| その他 | 1,156,407 | +568.7 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 合 計 | 8,125,719 | +134.1 | — |

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「電気サーボモータ式振動試験機」及び「材料試験機」は、当第2四半期連結累計期間については区分表示しております。なお、前年同四半期比については、前第2四半期連結累計期間分を遡及修正した金額に基づき算出しております。

(注4) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの国際計測器株式会社、東伸工業株式会社であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

| 区 分 | 売上高(千円) | 前年同四半期比(%) | 各区分に関連する 主な報告セグメント |
|----------------|-----------|------------|-----------------------|
| バランスングマシン | 3,164,440 | +70.9 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 電気サーボモータ式振動試験機 | 142,247 | △20.0 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 材料試験機 | 272,467 | △21.6 | 日本(東伸) |
| シャフト歪自動矯正機 | 179,685 | +47.6 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| その他 | 220,064 | +16.3 | 日本(国際), 米国, 韓国, 中国 |
| 合 計 | 3,978,905 | +48.0 | — |

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 前第2四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「電気サーボモータ式振動試験機」及び「材料試験機」は、当第2四半期連結累計期間については区分表示しております。なお、前年同四半期比については、前第2四半期連結累計期間分を遡及修正した金額に基づき算出しております。

(注4) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの国際計測器株式会社、東伸工業株式会社であります。